

# とっ とり しょう ぼう 鳥取と消防

全国各地から駆け付ける「緊急消防援助隊」と、空から消防活動を行う「鳥取県消防防災航空隊」を紹介しつます。また、鳥取県東部で過去に起こった大きな災害を確認しましょう。

## 鳥取県緊急消防援助隊

地震や洪水などの自然災害や大規模災害が発生した場合、緊急消防援助隊が出動します。また、鳥取県が被災地になった場合は、全国から消防隊や航空隊が応援に駆けつけてくれます。

出動した災害	東日本大震災	熊本地震	平成30年7月豪雨
出動期間・人数	H23.3.12~3.18 計69名	H28.4.16~4.21 計44名	H30.7.12~7.24 計107名



## 鳥取県消防防災航空隊



鳥取県消防防災航空隊は、林野火災など地上から近づくと難しい火災現場の上空から消火活動を行います。また、救急車では病院に搬送するのに長時間かかる場合は、傷病者をヘリコプターに乗せて救急搬送を行います。



14 消防用語

**ドクヘリ** ドクターヘリの略。医療活動ができるヘリコプターで、救急専門の医師と看護師が来て救急現場に飛んできて救命治療を行います。ドクヘリは「空飛ぶ病院」です。  
**CPA** 心肺停止の意味(Cardio pulmonary arrest)。心臓も呼吸も止まった状態で急に救命処置が行われます。

## いわい たいか 岩井大火



岩井地区が一面焼け野原になりました。

昭和9年6月6日午後4時40分ごろ、温泉で有名な岩美町岩井で発生した火災は、建ちならぶ温泉旅館や民家に次々と燃え広がり、全焼建物339棟、半焼19棟と岩井地区全体を焼きつくす大火となりました。岩井地区では毎年、大火が二度と起こらないよう火の用心の思いを込めて防火パレードを行っています。



翌日の新聞記事で被害の大きさが伝わります。(鳥取新報の記事)



「火の用心」の掛け声のもと、火災予防を呼びかけます。

## とっ とり おお じ しん 鳥取大地震

昭和18年9月10日午後5時36分57秒、鳥取市を震源とするマグニチュード7.2、震度6の直下型地震が発生しました。

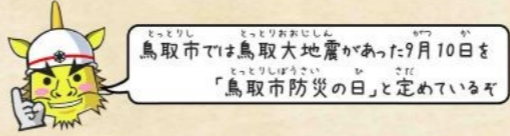
この地震による死者は1,210名、負傷者3,860名、住居の倒壊率も全半壊あわせて85%を超えました。地震発生の数分後には火災が発生、2日後の12日午前5時に鎮火しましたが、鳥取市街地の建物は壊滅的な被害を受けました。また発災当時、日本は戦争中であり災害復興まで困難な状況でした。



地震で倒壊した家屋がたくさんあります。



屋根の上で救済活動。奥の山は久松山です。



鳥取市では鳥取大地震があった9月10日を「鳥取市防災の日」と定めている。

## とっ とり たいか 鳥取大火



火災発生のようす、鳥取市街地が炎上しています。



鳥取市街地の焼失状況



昭和27年4月17日午後2時55分ごろ、鳥取駅前付近で出火。フェーン現象による強風のため、またたく間に燃え広がり、約12時間燃え続けて鳥取市街地の3分の2を焼き尽くしました。

鳥取大火で2つの小学校が焼失、児童は火事にあわなかつた近くの小学校で5月1日に授業を再開した。

メモ

---



---



---

この大火による被害は、死者2名、負傷者3,966名、り災者2万4千名、焼失建物は家屋5,228戸、家屋以外の公共施設など510棟、被害総額193億(推定)を超える戦後では国内最大級の火災となりました。

15 消防クイズ Q. 家族が運転する車に、サイレンを鳴らした消防車や救急車が近づいてきました。どうすればよいでしょうか?

①そのまま走り続ける ②スピードを上げて引き離す ③ゆっくり左側によって道をゆずる